第1回

(仮称) 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会

3 これまでの刈谷駅周辺まちづくりの経緯について

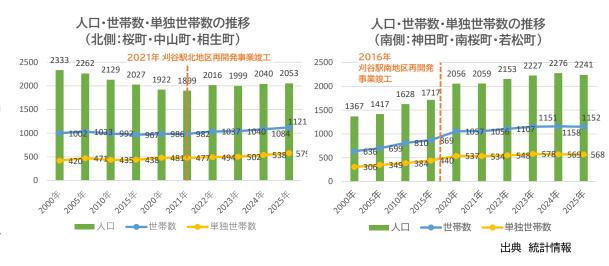
■ 刈谷駅周辺の現況整理

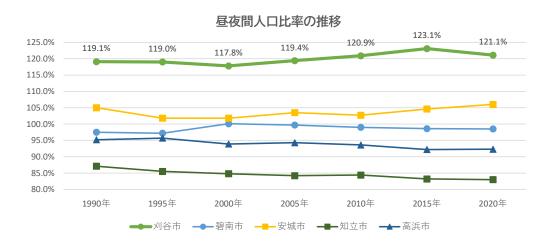
刈谷駅周辺の人口推移

- ・北側では、2000年度以降、 人口が減少していましたが、 再開発事業竣工以降、人口増 加傾向にあります。
- ・南側では、2015年度から 2020年度の間(2016年に 再開発事業が竣工)で人口が 300人以上増加しています。

昼間·夜間人口

周辺の市町に比べ刈谷市の 昼夜間人口比率は高く、昼間 人口が多いことが分かります。





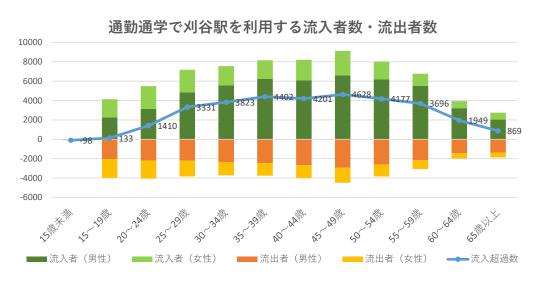
※昼夜間人口比率=昼間人口 ÷ 夜間人口 × 100

出典 刈谷市

■ 刈谷駅周辺の現況整理

流入·流出状況

・ 通勤通学で刈谷駅を利用する人は、流入超過となっており、流入者数は、流出者数の倍程度となっており、なかでも働き世代(25歳から60歳までの男性)の流入者数は突出して多くなっています。



出典 国勢調査 RESAS

刈谷駅の乗降者数

- ・ 刈谷駅の乗降者数は、コロナ禍の 影響を受け、一時的に減少してい ます。
- 現在では、回復傾向にありますが、 コロナ以前の乗降者数まで回復していない状況にあります。



出典 刈谷市

第1回 (仮称)刈谷駅周辺エリアプラットフォーム 全体会

■ 刈谷駅周辺の現況整理

建物用途分布状況

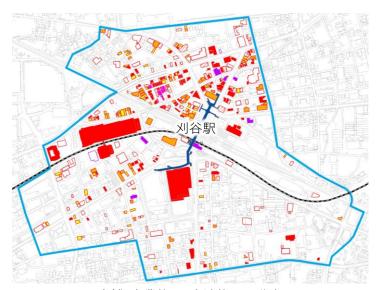
- 駅北側には小規模な商業施設や店舗が多く分布しています。
- 駅南側には大型商業施設や官公庁施設が多く分布しています。



刈谷駅北側の様子



刈谷駅南側の様子



店舗・商業施設・宿泊施設の分布



官公庁施設・文教厚生施設の分布

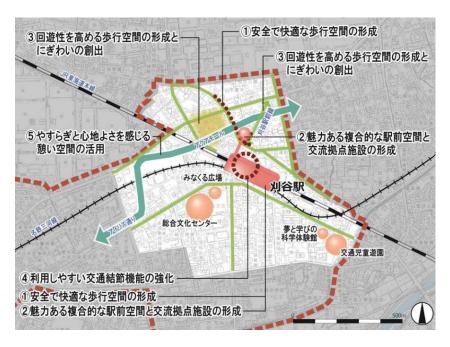


出典 R4年基礎調査

■ 刈谷駅周辺の現況整理

刈谷駅周辺の開発・整備

- 刈谷駅周辺は都心交流ゾーンに位置付けられ、「人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり」が目指されています。
- これまでに、「カリマチストリート」の整備や「刈谷駅北口地区」の再開発などが行われました。また、「南北連絡通路」や「刈谷駅北口駅前広場」などの整備も検討されています。









出典 刈谷市中心市街地まちづくり基本計画

■ 刈谷駅周辺の現況整理

各団体の活動や社会実験の実施など

これまで刈谷駅周辺では、公園や道路などの公共空間の活用を行っています。また、地域住民の交流拠点となる施設の整備・運営やイベントの実施を行っています。



カリマチストリートの活用



大手公園の活用



南桜町公園の活用



みなくる広場の活用



きたくる広場の活用



スペースAquaの整備



KariCoCoの運営



カリアンナイトの実施

刈谷駅周辺の現況整理

まちなかデザインワークショップの実施

まちなかデザインワークショップでは、ゲスト をお招きし講演会やパネルディスカッション を行った後、参加者の意見交換を行いました。

第1回 まちなかデザインワークショップ

- 講演「未来の協働・共創のまちづくり」
- パネルディスカッション
- 参加者のディスカッションタイム

第2回 まちなかデザインワークショップ

- 講演「まちづくりのポイント」
- パネルディスカッション
- 参加者のディスカッションタイム

第3回 まちなかデザインワークショップ

- ワークショップ
- 有識者によるトーク

刈谷駅周辺エリアまちなかデザインワークショップ

刈谷駅を中心とするエリアでは、人が集い・憩い・多様な 活動ができる「ひと中心の空間づくり」を進めています。 まちが持つ魅力を最大限に生かすためには、

まちづくりに関心がある皆さんの思いが欠かせません。 今回のディスカッションを通して未来の

刈谷駅周辺エリアを想像(妄想?)しながら、 私たちにできること、私たちにしかできないことを

[会場] 市民ボランティア活動センター 1階

[定 員] 各回ともに60名(当日先着順)

[駐車場] お車でお越しの方は、市役所第2駐車場をご利用ください。

「未来の協働・共創のまちづくり」 2024.11.9 (受付開始) 13:00

Sp Guest 岐阜大学教授 高木 朗義 氏

1963年名古屋市港区生まれ。1987年岐阜 ルタントを経て、1999年岐阜大学工学部 講師、2006年教授、2021年新設の社会シ ステム経営学習へ開動。2019年~Ginet 監事。専門はまちづくり(土木計画学/政策 評価、総合防災、都市地域計画、インフラ管 理等)。「誰もが主体的に協働して、哲が幸せ に暮らせる地域社会を創る」を目標に、外 部(不)経済効果を社会経済システムへ内部 化する研究を行っている。「世界一受けた い授業』や『二ノさん』等メディアにも多数

Guest

尾崎 佳織 氏 (刈谷市役所まちづくり推進課) 鈴木 博道 氏 (刈谷駅前商店街振興組合) 河村 元貴 氏 (NPO法人 まちづくりかりや)

「まちづくりのポイント」 2024.12.17 (受付開始) 13:00 13:30 - 16:00

Sp Guest (一社)つちからみのれ 伊東 将志 氏

三重県尾鷲生まれ尾鷲育ち。18歳で地域の 商工会議所に入社後、熊野古道が世界遺産 まちづくり会社に移籍。「町ならでは」のま ちづくりを行う集客交流のお店として、事 業を展開。夢古道おわせ・夢古道の湯、両店 を立ち上げ、施設経営と地域密着の店づく りを行い、尾鷲ヒノキの間伐材の利活用を 促進する100のありがとう風呂を企画し 2015グッドデザイン書・ウッドデザイン 賞受賞。2022年から院提案と教育をテー マに一般社団法人つちからみのれを設立。 全国各地でセミナーや講演活動を行う。



Guest

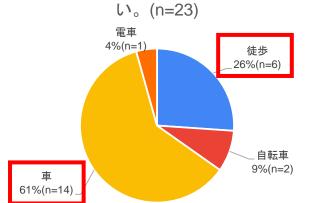
成田 光宏 氏 (NPO法人 まちづくりかりや) 丹羽 一夫 氏 (刈谷市商店街連盟) 鈴木 雄大 氏 (hacro) 大浦 智香 氏 (ki ssa ko)

主催・問合せ 刈谷市まちづくり推進課 0566-62-1022 NPO法人まちづくりかりや 0566-45-6440 ■ 刈谷駅周辺の現況整理(カリマチストリートマルシェ来場者アンケート)

交通手段

主な交通手段として、「車」の割合が最も高く61%、次いで「徒歩」の割合は26%となっています。

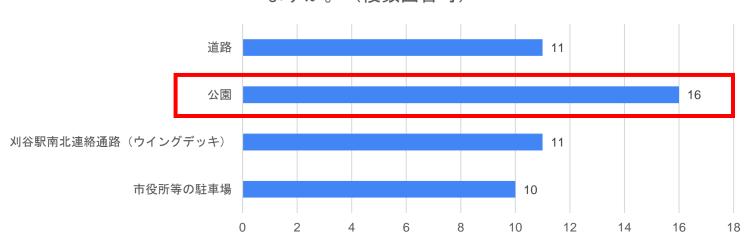
Q4.会場までの主な交通手段を教えてくださ



公共空間でのイベント

公園でのイベントを望む意見が最も多くなっています。

Q13.どのような公共空間でイベントがあれば、行ってみたいと思いますか。(複数回答可)



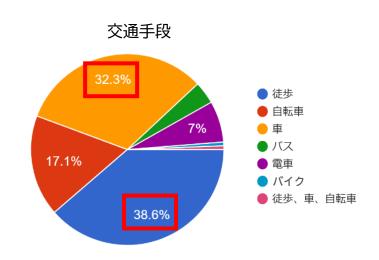
■ 刈谷駅周辺の現況整理(カリマチ広場来場者アンケート)

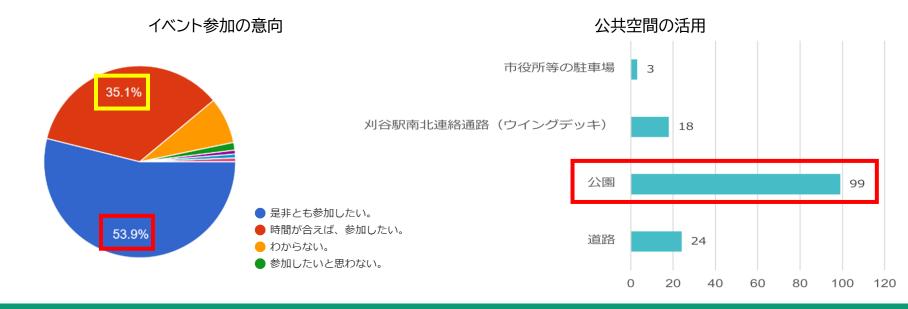
交通手段

主な交通手段として、「徒歩」の割合が最も高く、約39%、次いで「車」が32%となっています。

公共空間でのイベント

「是非とも参加したい」、「時間が合えば、参加したい」 を合わせて89%で、公共空間を活用したイベント等へ の期待は高く、公園でのイベントを望む意見が最も多く なっています。



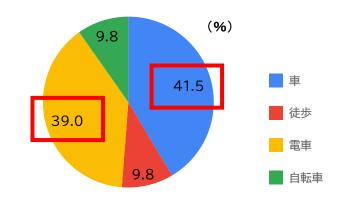


■ 刈谷駅周辺の現況整理(「燎-kagaribi-」来場者アンケート)

交通手段

主な交通手段として、「車」の割合が最も高く、約41.5%、次いで「電車」が39%となっています。

会場までの主な交通手段を教えてください

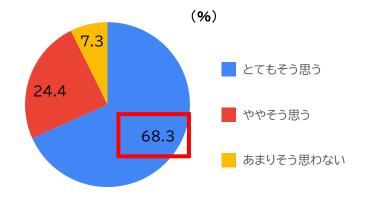


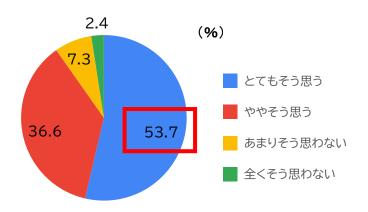
公共空間でのイベント

公共空間でのイベント開催により、「まちなかで過ごす時間が魅力的になる」「まちなかで過ごす時間が増えるきっかけになる」と回答した人が多くなっています。

公共空間でイベントが開催されるとあなたがまちなかで過ごす時間が魅力的なものになると思いますか

公共空間でイベントが開催されると、あなたがまちなかで過ごす時間が増えるきっかけになると思いますか





刈谷駅周辺の現況整理(課題)

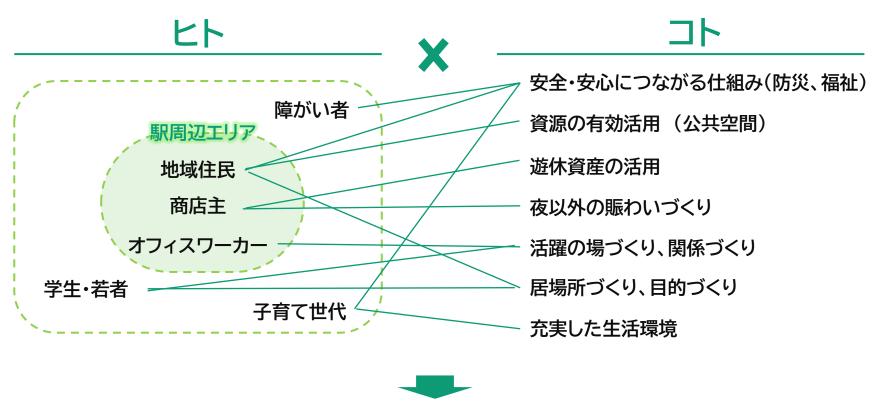
キーワード	意見内容	
にぎわい	・ 日中に人が歩いていない・ 若い世代が楽しめない・ 学生向けの娯楽施設がない・ 気軽に入れるお店がない	無機質なまち学生向けの飲食店がない
居場所	家族で来られる場所がない多世代交流の場が必要長時間いられる場所がない	・ 公共空間を使えることが認知されていない・ 勉強ができる場所が少ない
子育て	・ 子育て世代が戻って来られる場づくりが必要	
環境	・ ゴミ問題が発生している ・ 環境が悪化している	• トイレが汚い
安心·安全	治安が悪くなっているマナーが悪い人がいる	・ 街灯が少ない
福祉	• 横断歩道が少ない • 段差が多い	• バリアフリー化が進んでいない
ビジネス	個人店が参入できないチェーン店が多くなった	シャッター街になっている商店街の存続
交通	高齢者が駅まで行くためのモビリティ整備が必要駐輪場が混雑している横断歩道で車が渋滞している	車がないと訪れることができる場所が限られる信号が変わるのが早いと感じる横断歩道が不足している
その他	既存の組織を超えて話し合える場が必要万燈をつくる人が年々減ってきている	・ 若年層は多いが住み続けない・ ソフト面でのサポートが必要

刈谷駅周辺の現況整理(期待・強み)

キーワード	意見内容	
にぎわい	飲食だけでなく遊べる場があると良い土曜日に若い世代が増えた地域の方と連携したイベントの開催季節行事のイベントの開催特産品の朝一	・ 市民交流や海外の方が出店するイベントの開催・ オブジェの設置を行う・ ジムなどの気軽に運動できる施設が欲しい・ ボウリング場や映画館が欲しい
居場所	集える場所やリラックスできる場所が欲しい場所が見つかるまちとなって欲しい附属高校とコラボし子ども食堂を運営したスターバックスが欲しい	カリココを拡大して欲しいカリココのようなフリースペースが増えて欲しいフードコートで勉強させて欲しい
子育て	・ 自分の育った地域に愛着を持って欲しい	• 子ども向けの施設が充実している
安全·安心	子どもを安心して連れて来れるまちにしたい	安心して暮らせるまちにしたい
環境	• 緑あふれるまちにしたい	
ビジネス	・ 異業種交流ができると良い	• 学生キッチンがあると良い
イノベー ション	・ スマートシティ構想 ・ モビリティ開発	
交通	・ 駅から徒歩圏に行政施設・商店街がある ・ 公共交通が充実している	• 連絡橋によりスムーズに移動できる
その他	・ 誰もが挑戦できるまちとしたい・ 働く以外の楽しみがあるまちとしたい・ 公共施設が充実している・ 無料の駐車場がある・ 大型商業施設がある	 まちづくり活動は、他市での取組みやアルバイトと差別化し、社会 貢献活動の経験として就職活動などで役立つような内容になる と良い 学生コラボは企業が関わりやすい仕組みが必要

まちの課題認識のまとめ

まちなかの回遊性の少なさ、活気を感じない



ヒトとコトを上手く結びつけることで、まちなかを訪れる目的ができ、まちに関わる主体が増える

人の顔が見える、回遊とにぎわいのあるまちづくり

4 エリアプラットフォームについて

第1回 (仮称)刈谷駅周辺エリアプラットフォーム 全体会

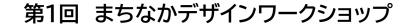
■ 刈谷駅周辺の現況整理(これまでの経緯)

これまでの振り返り

昨年度のデザインワークショップには、地域住民や企業・団体が参画し エリアプラットフォーム設立に向けた機運醸成を図ってきました。



各団体の活動や社会実験の実施など





第3回 まちなかデザインワークショップ



第1回 (仮称)刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会

- これまでの刈谷駅周辺のまちづくりの経緯
- エリアプラットフォームについて
- リレートーク
- アフタートーク



TOP TO STATE OF THE PARTY OF TH

第2回 (仮称)刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会

エリアプラットフォーム設立

エリアプラットフォームの役割

エリアプラットフォームとは、**まちづくり団体・自治会・商店会・企業・NPO法人**など様々な主体が集まり、まちの将来像(ビジョン)について協議し、将来像の実現に向けて<mark>協議・調整を行う場</mark>です。

エリアプラットフォームがないと・・・

- 様々な団体が別々の将来像に向け活動してしまい、効果が発揮されない
- 各団体の得意分野での活動となってしまい、活動内容が限られてしまう
- 関係者が限られてしまい、住民の意識向上に繋がらない
- 担い手が不足し、継続的な活動ができない



エリアプラットフォームの活動

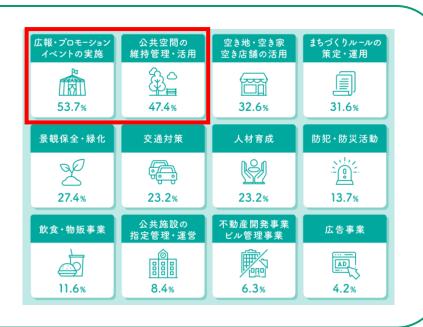
令和7年度におけるエリプラットフォーム活動支援事業の補助対象となっている事業者は 48団体となっており、全国的にエリプラットフォームの構築が行われています。

エリプラットフォームを中心に社会実験や交流拠点施設の整備・運営などが行われています。

将来像実現に向けた全国のエリプラットフォームの活動

5割前後が「広報・プロモーションイベントの実施」「公共空間の維持管理・活用」に取り組んでいます。その他に、「景観保全・緑化」など様々な活動が行われています。





まちの特徴や課題を踏まえ、どのような活動が望ましいか検討することが大切です。

■ 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立

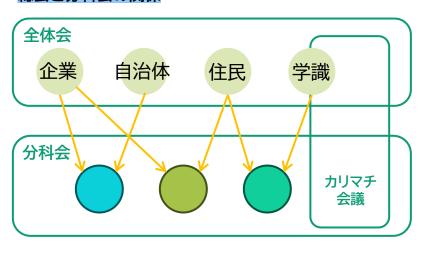
設立の目的

刈谷駅周辺エリアプラットフォームでは、官民で連携し、エリアビジョンの策定及び継続的なまちづくりに取り組むことで、刈谷駅周辺の回遊性向上やエリア価値の向上を図ることを目的とします。

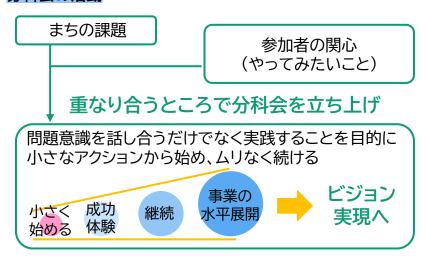
プラットフォームの体制

刈谷駅周辺エリアプラットフォームでは、全体会を情報共有や全体の方向性を協議する場とし、分科会は、共通の関心を持つ人が集まり実践をする場とします。

総会と分科会の関係



分科会の活動



■ 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立

分科会の役割

同じような興味・関心を持つメンバーが集まり、まちづくりの実践部隊として、やりたい・やってみたい活動を通して、街に新たな価値を生み出してください。

分科会構成イメージ

課題 (事前に抽出したうえで、全体会の準備会で検討したもの)

(課題解決のため) やること

(全体会で頭出ししたうえで、分科会の会議で具体的に検討)

構成員 (目的ごとにやりたい人が集まる) (対象) (キーパーソンの発掘は心がける) エリア

•拠点

(やることを前提に決める)

活動内容 (上記の項目を検討の上で、実際に何を行うか決める)

スケジュール (内容が決まった段階で決める)→

基本プラン

・第1回: やることを検討

・第2回:活動内容の検討(アクション)

・(可能ならば社会実験の開催)

課題 振り返りを行った上で抽出

■ 刈谷駅周辺エリアプラットフォーム設立

- エリアプラットフォーム設立までに複数回の全体会を開催し、参加者の関係性構築や活動の方向性を検討します。
- 分科会(ワーキンググループ)等でワークショップや検討会を行い、その内容を全体会で 共有しながら、エリアプラットフォームの在り方を検討します。
- エリアプラットフォームは任意団体であるため、登記などの定めた手続きはありません。
- エリアプラットフォームの設立にあたって、規約(運営のルール)と「構成員」(メンバー表)を作成します。

規約(運営のルール)

- エリアプラットフォームの運営や活動の基本となるルールです。
- 内容や形式について決まりはありません。



「名称」「目的」「活動内容」「構成員」等を定めた緩やかなルールです。

構成員(メンバー表)

- エリアプラットフォームの活動に賛同し運営 や活動に参加していただける団体及び個人 は参加可能です。
- 構成員の種別を定めることも可能です。



どのような関わり方や活動ができるのか 話し合い、協力関係を築くことが大切です。

■ エリアプラットフォームの規約事例

規約の骨子(案)

①名称

刈谷駅周辺エリアプラットフォーム (参加者で検討)

②目的

エリアプラットフォームは、刈谷駅周辺において、官民が一体となり、エリアビジョン策定及びそれの実現する活動を通じて、まちの回遊性や価値の向上を図り、魅力を創出することを目的とする。

③活動内容

エリアプラットフォームは、次に掲げる活動を行う。

- (ア)エリアビジョンの策定
- (イ)エリアビジョン実現に向けた調査、検討及び事業の実施。
- (ウ)刈谷駅周辺におけるまちづくりに関する情報共有・及び意見交換。
- (工)その他、目的を達成するために必要なこと

4 組織

エリアプラットフォームは、本規約に賛同する以下の会員により構成する。

- (ア)刈谷駅周辺のまちづくりに関わる民間事業者及び地域団体、自治体、個人など
- (イ)上記のほか、オブザーバー、アドバイザーなど

⑤事務局

エリアプラットフォームの事務局は●●●●に設置する。

6分科会

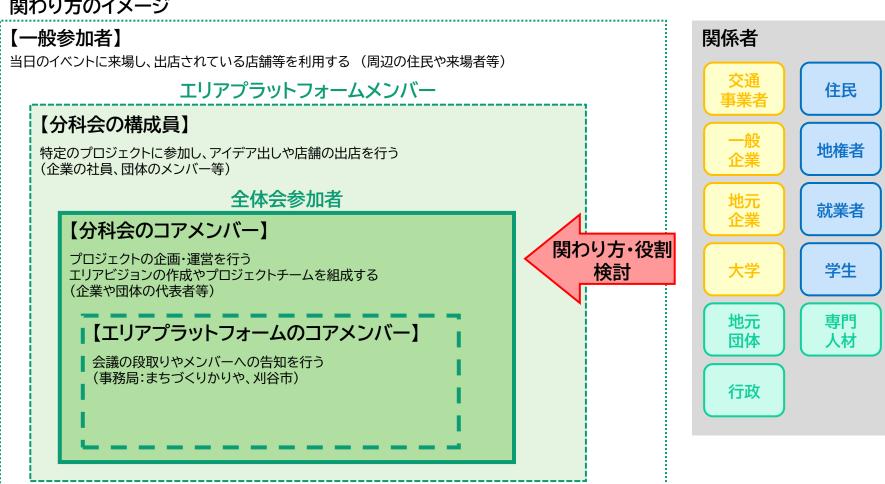
- (ア)エリアビジョンの実現に向け、活動のテーマに応じた分科会を設置する。
- (イ)分科会の方針・組織・運営・その他必要な事項は総会にて情報共有を行う。



エリアプラットフォームの関わり方

様々な関係者がどのようにエリアプラットフォームに関わり、どのような役割を担うのか検討が 必要です。

関わり方のイメージ



■ エリアプラットフォームの進め方

今年度の進め方(予定)

- 今年度は計4回の全体会を予定しています。
- 全体会に合わせて、まちの課題解決のテーマに合わせた分科会を並行して開催し、随時、全体会で情報共有を図っていきます。

